

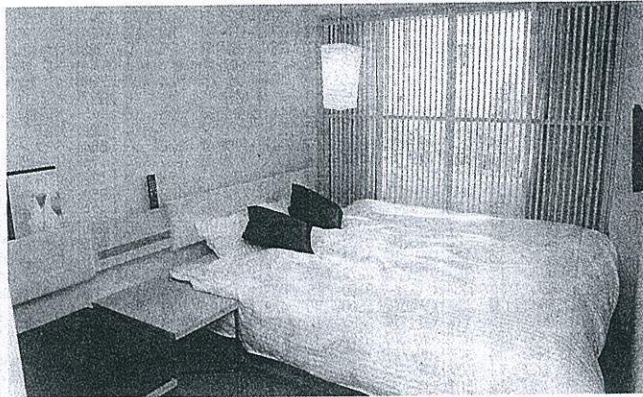
# 客室、洋から和に刷新

## 日本庭園生かし独自色

### 宇都宮グランドホテル

陽南荘宇都宮グランドホテル(宇都宮市西原町、中村太三郎社長)は8月2日から、宇都宮グランドホテルの大幅改修を始める。ホテルの特長である日本庭園の魅力を最大限生かす形で、客室を現行の洋室から和室へ初めて全面改装するほか、ロビーやレストランを順次刷新。宿泊プランも大幅に増やし団体客や外国人観光客も新たに取り込むなどして経営不振からの脱却を図り、黒字化を目指す。

(岡田優子)



ホテル内のシングル室のモデルルーム。ダブルベッドを配置し窓には格子を設けた＝宇都宮市西原町の宇都宮グランドホテル

### 団体、外国人客獲得へ

改修は11月末に終わる予定。同社は新たな運営方法で経営に臨むため、8月末で分社化する。9月以降は新会社の宇都宮グランドホ

テル(宇都宮市西原町、中村社長)が運営する。同ホテルは1971年才

は全58室を備える。近年は施設の老朽化や婚礼の減少、近隣ホテルとの競合などを背景に稼働率は40%に落ち込み、経営不振に陥っていた。2016年8月期は建物や土地の資産売却などで赤字は解消でき

る見込みだが、厳しい現状を打破するため、空調や電気など設備の全面更新に合わせ商品価値を高める。これまでのビジネスマン層ではなく、2食付プランを利用する個人や団体の宿泊客をメインターゲットに設定。客室はスイートを除き全て和室として低床ベッ

ドを置くほか、防音効果を高め、窓には格子を新設する。シングル室にも低床のダブルベッドを置くなど、庭園を楽しみながらゆったり滞在できるようにする。1階のロビーは石調タイ

三つのレストランはビュッフェ形式のレストランにまとめ団体客にも対応する。コーヒールウンジには庭側にウッドデッキを設け、景観を楽しめるようにする。設備投資額は約4億5千万円。

合わせて宿泊プランを年間約40件に拡充する。宿泊料も1泊2食付(1人)で1万6千円～2万円と現行の5割高に設定。初年度は稼働率70%を目指す。

地引博行総支配人は「街中のシティーホテルが全和室というのは全国的にない。独自の価値観を持ったホテルで新たなファンを獲得していきたい」と話す。